



城南中だより

舞鶴市立城南中学校
令和6年6月3日発行
第3号 通算678号

<http://jonan-maizuru.edumap.jp/> TEL 75-0137



深緑の候 保護者・地域の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動にあたたかいご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

5月の生徒総会では、各学級で精査し提起された様々な意見や要望に対して、それぞれの内容に応じて生徒会本部や学校側での



検討内容を全校生徒に回答し、満場一致で決議されました。日々の学習活動を通じた「気付き」をみんなで共有することで当事者意識が高まり、「当たり前」を見直してさらなる質の向上へと協働的に改善策を練る絶好の機会になりました。

笑う門には福来たる

生徒総会後の“校長先生からのお話”コーナーでは、著名なアニメ作品のテーマソングの一節を導入に、いくつかの前向きな慣用句を挙げて「ポジティブに行動を起こす」ことの効用や「私の幸せ」と「みんなの幸せ」との相関関係～「自分のためだけではなく、周りの小さな幸せを何重にも重ねれば、みんなが幸せになる」という、まっとうな社会のウェルビーイングについて考えました。

一人ひとりが、誰かのために・何かのために役立ちたい等と願い、そのための努力や工夫を継続する（モチベーション・インセンティブ）ことは、より良い未来に向けてとても意義深いことだとわかっています。

ただ、ポジティブに前向きに暮らそうと思っても、人生は山あり谷ありです。どんな時にも、本当は自分は結構運が良い・守られていると感じながら今を一生懸命に生きてみると、いろんな出会いがあって、ここ一番という時に手を差し伸べて助けてくれる人が現れたり、思わぬところに幸運が訪れたりします。さらに、それらの「幸運に気づき生かす力」や、力を合わせて粘り強く課題に取り組み苦境から回復するための「しなやかさ（レジリエンス）」は、欠かせない重要な事項です。

セレンディピティ効果

旅の醍醐味の一つに非日常を味わうことが挙げられます。3年生は、生徒総会の翌日から3日間の修学旅行に出発しました。活動を通して、たくさん得ただけではなく与えたものもあります。

総勢150名余りが我が家を離れて文字通り寝食を共にしました。スケジュールに沿って多様な学習体験を重ねる中で、偶発的な課題に直面した生徒達があたたかな気配りで対応する姿や、個々の成長・ファインプレーは、先生や看護師さんら大人たちにも感動を与えました。

生徒実行委員会を中心とした事前の係活動で「楽しさと学びの両立・未来につながるものを得る」ことを目標に、全ての生徒にとって素晴らしい学びの場となるよう綿密な計画を立てています。旅行中は天候にも恵まれ、要所要所での役割分担等、組織的な体制が十分に機能して安全で快適な環境を保ちました。そして「前向きに行動を起こす人に偶然訪れる幸運」の数々にも助けられました。

令和6年度の修学旅行を支えてくださった全ての皆様方に改めて感謝申し上げます。

「鋭い人権感覚」の醸成

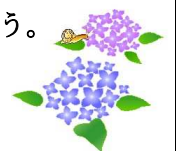
修学旅行では「楽学両道」をねらい、次に「文武両道」が続きました。府の学力状況調査「学びのパスポート」で5月を締めくくり、6月1日には新体制で「市民スポーツ祭」に臨みます。

力を合わせて楽しくバランス良く、マルチタスクで「二兎も三兎も追える」のならば可能性の幅が広がります。「〇〇両道」は「一挙両得」「一石二鳥」など、よりポジティブな側のソリューションといえるのではないのでしょうか。一方で、「二兎を追う者は一兎をも得ず」の諺は、堅実に的を絞ることを勧めています。状況に応じて、どちらも柔軟に使い分けたいものです。

さて、6月からは、鋭い人権感覚を基盤に校区で推進する「インクルーシブな学校運営事業」で、舞鶴支援学校と連携した共同学習を始めます。居心地の良い素敵なお学校づくりも、いじめの防止も、一人ひとりの高い人権意識に基づいています。みんなが自慢できる城南中を築きましょう。

保護者・地域の皆様方のかかわぬご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

校長 福本 浩介 教職員一同



より良い学校教育で、より良い社会をつくる